

霧島ジオパークロゴマーク使用ガイドライン



霧島ジオパーク推進連絡協議会

平成21年12月



宝くじは、広く社会に役立てられています。

霧島ジオパークロゴマーク使用ガイドライン

このガイドラインは、霧島ジオパークロゴマークを、広告、技術資料、販促資料及びその他の印刷物、サイン、ウェブ素材またはビジュアル素材に使用する場合の正しい取り扱い方法を示すものです。

いかなる状況においても、ロゴを変更したり、作り変えたり、縦横を変倍することはできません。必ずガイドライン提供のフォーマットをご使用下さい。

目次

1	ロゴマークイメージについて	①
2	ロゴマークの使用について	①
3-1	カラーで使用する場合	カラー印刷等	②
3-2	単色で使用する場合	単色印刷等(モノクロ)	③
3-3	単色で使用する場合	単色印刷等(カラー)	④
3-4	白抜きで使用する場合	⑤
4	余白について	⑥
5	ロゴマークの拡大・縮小について	⑦
6-1	その他の使用方法について	⑧
6-2	悪い使用例について	⑨
7	ロゴマーク作成・決定の経緯について	⑩

1 ロゴマークイメージについて

全体のシルエットは、霧島山をイメージし、7つのライン(グリーン・ホワイト)は霧島山を取り囲んで位置する自治体を表現しています。日本最初の国立公園である霧島屋久国立公園の「霧島山」及び環霧島地域のイメージを強調し、自然で暮らす生物や自然を守る人々のつながりそのものも意味したグローバルに展開する霧島ジオパークの未来を強調したロゴマークデザインです。

2 ロゴマークの使用について

ロゴマークについては、次に記載する時期に応じて使い分けるものとします。

■スタンダードタイプ【A】



使用時期：ジオパーク認定後

「ジオパーク」という単語の商標登録等はガイドラインの策定時点で行われていませんが、日本ジオパーク委員会から認定された地域だけがジオパークを名乗ることができるとされており、この趣旨に従い正式にジオパークに認定された後に使用を始めることとします。

■スタンダードタイプ【B】



使用時期：ジオパーク認定前

日本ジオパークの認定を目指す地域の協議会としてロゴマークを活用します。
なお、認定後にも協議会として使用する場合があります。

タイプ【A】とタイプ【B】のデザイン上の違いは、ロゴマークの中の文字部分だけです。

なお、アルファベットと漢字の使用によるデザイン調整のため、文字サイズが意図的に異なっているので、作り変えないこと。

3-1 カラーで使用する場合 カラー印刷等

■スタンダードタイプ【A・B】共通



■注意事項

※基本カラー（4色）

TOYO CF
ミレニアムブラック

プロセス：BL:100
RGB：R0, G0, B0

TOYO CF
10285

プロセス：C100%+Y100%
RGB：R0, G151, B75

TOYO CF
10245

プロセス：C50%+Y100%
RGB：R157, G193, B55

TOYO CF
10383

プロセス：C100%
RGB：R0, G158, B229

3-2 単色で使用する場合 単色印刷等(モノクロ)

■スタンダードタイプ【A・B】共通



■注意事項

※基本カラー モノクロ (ミレニアムブラック)

TOYO CF
ミレニアムブラック

プロセス: BL:100
RGB : R0, G0, B0

TOYO CF
ミレニアムブラック
80%

プロセス: K80%
RGB : R51, G51, B51

TOYO CF
ミレニアムブラック
60%

プロセス: K60%
RGB : R102, G102, B102

3-3 単色で使用する場合 単色印刷等(カラー)

■スタンダードタイプ【A・B】共通



■注意事項

※基本カラー 緑色の例

**TOYO CF
10285**

プロセス：C100%+Y100%
RGB：R0, G151, B75

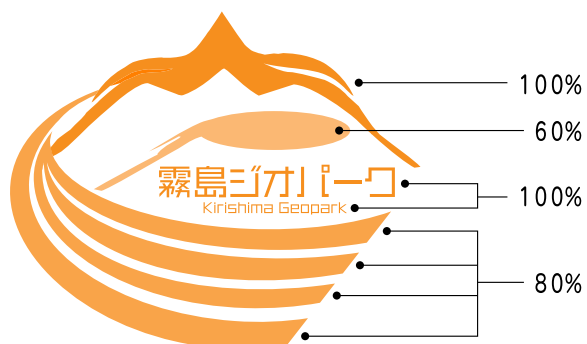
**TOYO CF
10285
80%**

プロセス：C80%+Y80%
RGB：R51, G164, B77

**TOYO CF
10285
60%**

プロセス：C60%+Y60%
RGB：R102, G189, B108

■スタンダードタイプ【A・B】共通



■注意事項

※基本カラー 橙色の例

**TOYO
0148**

プロセス：M52%+Y100%
RGB：R225, G122, B0

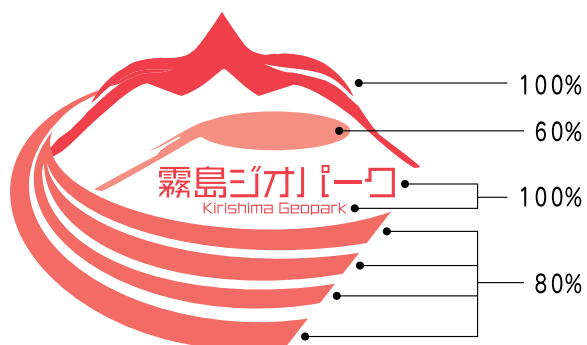
**TOYO
0148
80%**

プロセス：M41.6%+Y80%
RGB：R254, G149, B40

**TOYO
0148
60%**

プロセス：M31.2%+Y60%
RGB：R253, G175, B86

■スタンダードタイプ【A・B】共通



■注意事項

※基本カラー 赤色の例

**TOYO
0117**

プロセス：M90%+Y70%
RGB：R251, G27, B42

**TOYO
0117
80%**

プロセス：M72%+Y56%
RGB：R250, G73, B71

**TOYO
0117
60%**

プロセス：M54%+Y42%
RGB：R250, G118, B108

※ 上記以外のカラー使用についても、上記と同様の取扱いとします。

3-4 白抜きで使用する場合

■スタンダードタイプ【A・B】共通



■注意事項

※基本カラー

- ・白抜きのロゴマークは背景色が『50%以上』の場合のみ使用可能です。
- ・背景色が『49%以下』の場合では使用しないでください。
- ・ロゴマークが印象良く使用できる環境をよく考慮して使用してください。



TOYO CF
ミレニアムブラック
50%

プロセス：K50%
RGB：R127, G127, B127



TOYO CF
10285
50%

プロセス：C50%+Y50%
RGB：R127, G201, B127



TOYO
0148
50%

プロセス：M26%+Y50%
RGB：R253, G189, B110



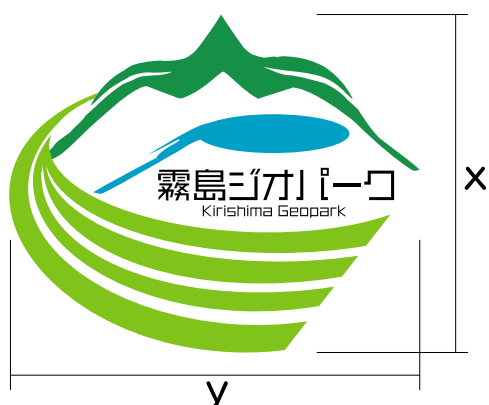
TOYO
0117
50%

プロセス：M45%+Y35%
RGB：R251, G141, B128

※ 上記以外の背景色での使用についても、上記と同様の取扱いとします。

4 余白について

■スタンダードタイプ【A・B】共通

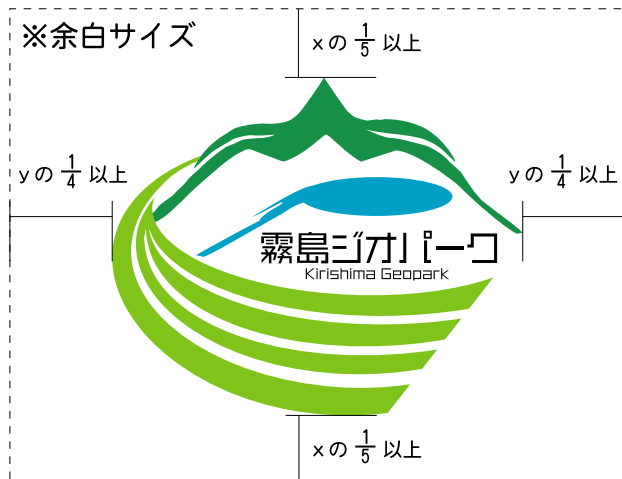


■注意事項

ロゴマークを配置する場合は、ロゴマークのコンセプトやイメージを損なわないために、他のデザイン、文字、写真、罫線等と重なったり、左に記載された余白サイズ内に他のデザイン、文字、写真、罫線等入らないように配置する。

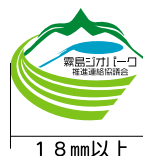
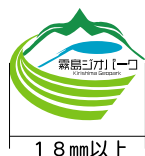
※基本サイズ

$$X : Y = 0.82 : 1$$



5 ロゴマークの拡大・縮小について

■スタンダードタイプ【A・B】共通



■注意事項

ロゴマークを拡大する場合の制限はありませんが、縮小する場合に限り、ロゴマークの再現性が損なわれるため18mm以下での使用はできません。

■18mm以下で使用する場合の方法

〈使用例〉



■注意事項

ロゴマークを左側、文字を右側に配置し、ロゴマークと文字を一体として使用する場合には、ロゴマークの18mm以下での使用を可とします。

この場合には、ロゴマークと文字を極端に離しすぎないようにします。

また、文字部分の縦幅は、ロゴマークの縦幅を超えないようにします。

6-1 その他の使用方法について

■スタンダードタイプ【A・B】共通

〈正しい使用例〉



- ・背景色が『50%以上』の背景の場合は、白抜きロゴマークを使用します。

〈正しい使用例〉



**TOYO CF
10285
50%**

プロセス：C50%+Y50%
RGB：R127, G201, B127



**TOYO
0148
50%**

プロセス：M26%+Y50%
RGB：R253, G189, B110



**TOYO
0117
50%**

プロセス：C45%+Y35%
RGB：R251, G141, B128

※ 上記以外の背景色での使用についても、上記と同様の取扱いとします。

〈写真背景にロゴマークを配置する場合〉



- ・ロゴマークの縁を白抜きにします。

6-2 悪い使用例について

■スタンダードタイプ【A・B】共通



・色を変えない



- ・指定余白内に文字を入れない
- ・線を重ねない

霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局



・変倍しない



- ・18mm以下のサイズで単独で使わない



・回転しない
・角度をつけない



- ・文字を重ねない



・背景色が『50%以上』の背景にロゴを配置しない

TOYO CF
10285
50%

プロセス : C50%+Y50%
RGB : R127, G201, B127

7 ロゴマーク作成・決定の経緯について

平成21年4月20日

ジオパーク認定を目指している環霧島地域での取り組みを広く周知するため、霧島ジオパークのロゴマークの公募を開始

《公募開始を発表した広報媒体・マスコミ等》

構成自治体の広報紙及びホームページ、公募ガイドホームページ（編集部ブログ）、霧島市記者クラブ説明会（鹿児島県側）及び都城市記者向けリリース（宮崎県側）による南日本新聞及び宮崎日日新聞紙上記事掲載、南日本新聞みなみのカレンダー掲載申込みによる記事掲載

平成21年5月29日

公募締め切り（全国各地から合計229点の応募あり）

平成21年6月

予備審査（審査員：霧島ジオパーク推進連絡協議会幹事 11名）

平成21年7月～8月

最終審査（審査員：霧島ジオパーク推進連絡協議会会員 36名）

平成21年9月

協議会ホームページにてロゴマーク入賞候補作品の類似情報の意見募集を行う（応募なし）

平成21年10月8日

霧島ジオパークロゴマーク決定を公式発表

《受賞者概要（敬称略）》

最優秀賞：平山 陽一 鹿児島市在住

優秀賞：信貴 正明 新潟県燕市在住

優秀賞：草野 敬一 長崎市在住

《公式発表を行った広報媒体・マスコミ》

協議会ホームページ、構成自治体の広報紙、霧島市記者クラブ説明会（鹿児島県側）及び都城市記者向けリリース（宮崎県側）による南日本新聞、朝日新聞、西日本新聞、読売新聞、毎日新聞及び宮崎日日新聞紙上記事掲載